

厚板工場の優秀な設備を駆使して、豊富な経験とたゆまぬ研究により培われた優れた技術をもって、JIS、外国規格をはじめ、当社が開発した独自の規格体系の厚板を製造していますので、幅広くご使用いただけます。 SuMPO EPD で第三者検証を実施し、EPDを取得しました。



JR-AJ-21006E-A：建築構造用厚鋼板
JR-AJ-21007E-A：建築構造用厚鋼板（国土交通大臣認定品）BT-HTTMシリーズ、BT-LYP®

製造品種一覧

種類	規格	日本製鉄規格	日本産業規格（JIS）
建築構造用鋼板		BT-HT325B、C BT-HT355B、C BT-HT385B、C BT-HT440B、C BT-HT440B-SP、BT-HT440C-SP BT-HT630B-ES、BT-HT630C-ES BT-HT400C BT-HT500C BT-HT700A、B	JIS G 3136（建築構造用圧延鋼材）： SN（490B、490C）
低温靱性保証鋼 NSLT® ※NSLTは3-64項を参照下さい		NSLT400B、C NSLT490B、C	JIS G 3106（溶接構造用圧延鋼材） JIS G 3136（建築構造用圧延鋼材）
建築構造用弾塑性履歴型ダンパー用鋼板		BT-LYP225	—
一般構造用鋼板		—	JIS G 3101（一般構造用圧延鋼材）： SS（330、400、490、540）
溶接構造用鋼板		—	JIS G 3106（溶接構造用圧延鋼材）： SM（400A、400B、400C、490A、490B、490C、490YA、490YB、520B、520C、570）
耐候性鋼材		 COR-TEN O* COR-TEN*： 490A、490B、490C COR-TEN 570*： NAW490 注）無塗装使用の場合は、*印を付したものをご使用下さい。	JIS G 3114（溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材）： SMA（400A（W、P）、400B（W、P）、400C（W、P）、490A（W、P）、490B（W、P）、490C（W、P）、570（W、P））* JIS G 3125（高耐候性圧延鋼材）： SPA-H 注）*Wは通常裸のまま、またはさび安定化処理を行って使用し、Pは通常塗装して使用する。

（備考）当社では、上記以外にも、機械構造用鋼板、耐磨耗性鋼板などの厚板を製造しておりますので、ご使用に際しましてはご相談下さい。
ここに掲載しています規格の詳細につきましては個別のカタログをご参照下さい。

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。